



南高SSHだより

第15号
H28.4.11
新潟南高等学校
SSH部発行

第5回 北東アジア環境・エネルギーシンポジウム



今年も開催されました。



参加校 (海外4校、国内7校、計11校)

- ・ハバロフスク市リズム国立学校 (ロシア)
- ・ヴァゼムスキ市第1国立学校 (ロシア)
- ・ソウル市ソウル高等学校 (韓国)
- ・山形県立米沢興譲館高等学校 (日本)
- ・新潟県立新発田高等学校 (日本)
- ・新潟県立高田高等学校 (日本)
- ・ハルビン工業大学附属中学 (中国)
- ・秋田県立秋田中央高等学校 (日本)
- ・福島県立会津学鳳高等学校 (日本)
- ・新潟県立柏崎高等学校 (日本)
- ・新潟県立新潟南高等学校 (日本)



日程

- 3月17日(木) **環境研修** 福島潟で施設見学・自然観察 (参加24名)
歓迎レセプション 夕方、新潟会館 (海外生徒とホストファミリーなど計47名参加)
 3月18日(金) **交流会** (午前) 海外の生徒が本校の授業に参加。
リハーサル (午後) 練習・準備

3月19日(土) 北東アジア環境・エネルギーシンポジウム

場所 新潟ユニゾンプラザ 英語で行われました。

日程 10:00~10:15 開会式

10:15~12:00 研究発表

- ①新潟南高校 A Study on the Use of Proteins ~Making Silk and Hair Plastic~
- ②ハルビン工業大学附属中学 The Harmony and Sustainable Development of the World ~The Youth's Responsibility and Mission~
- ③会津学鳳高校 Decontamination and Agricultural Products
- ④ソウル高校 New Method of Rainwater for Reclaimed Water Recycling
- ⑤米沢興譲館高校 Tippe Top Developed by 3D Printer
- ⑥ヴァゼムスキ市第1国立高校 Research of Quality of a Snow Cover and Vegetation



in the Town Vyazemsky

12:00~12:40 昼食

12:40~13:40 ポスター発表 (国内6校、計33テーマ参加)

13:50~14:50 パネルディスカッション

テーマ「生態系と人間」 生徒による意見交換

アドバイザー：本間 航介 先生 (新潟大学農学部准教授)

司会：渡邊 伸、Wolfe Samantha (本校英語科)

参加校：ハバロフスク市リズム国立学校、ハルビン工業大学附属中学、ソウル高校、

米沢興譲館高校、会津学鳳高校、新発田高校、高田高校、新潟南高校 (2名)

14:50~15:15 閉会式

ホームステイ 3月17日(木)夜~19日(土)朝 (各ホストファミリー)

成果

- ・今年も北東アジアの高校生が新潟に集い、環境やエネルギーについて学び、意見を交わしました。
- ・海外の生徒と南高校の生徒は、あっという間に打ち解けて友達になり、心からの交流ができました。
- ・あらためて、北東アジア諸国の高校生の英語力の高さ、英語による交流の大切さを理解しました。
- ・日本国内からも7校の参加があり、この行事の存在と意義も広く認められるようになりました。



- ・研究発表では、聴衆の生徒からも多くの質問があり、英語による活発な質疑応答が行われました。
- ・今回からは基調講演を廃し、パネルディスカッションに時間と労力をより多く注ぎました。
- ・基調講演の代わりに、パネルディスカッションの冒頭で講師の本間先生による短い講義がありました。
- ・パネルディスカッションでは「里山」をキーワードに、英語による活発な意見交換が行われました。
- ・ポスター発表も、去年の 29 テーマから 33 テーマに増え、活発な発表、質疑応答が行われました。
- ・ポスター発表では、特に、新潟県内 SSH 校の活発な活動が目立ちました。
- ・ステージと聴衆との質疑応答、聴衆の参加をもっと行い易くすることが今後の課題と感じました。

生徒のアンケートより

- ・私は去年のシンポジウムに参加しましたが（中学生）、その時は英語力がほとんどなく、プレゼンテーションなどの全ての内容が理解できずとても悔しかったのを覚えています。今回のシンポジウムに参加して、去年よりは分かった内容が増えて、嬉しかったです。研究発表では各国の環境問題についてそれぞれ興味深い意見や解決策が述べられていて、おもしろかったです。特に韓国のプレゼンテーションでは雨のすばらしい活用法について発表されていました。難しい内容だったので、理解しづらかったです。ポスターセッションでは日本の高校の様々なテーマの研究について細かく記述されていて良かったです。特に逆立ちゴマの研究はとても分かりやすく、多くの質問ができました。パネルディスカッションでは前の 2 つの内容とは一変し、自由な対話が行われていて、良かったです。来年には今のようすばらしいシンポジウムになるよう、努力していきたいです。
- ・本当に楽しい環境シンポジウムでした。1 年生の頃からずっとパネルディスカッションに参加したかったので、本当に今日は参加することができて嬉しかったです。最初は本当に緊張していたけれど、とても楽しくて、いつの間にか緊張も忘れて夢中で話を聞いていました。国ごとに皆それぞれの環境問題を抱えていて、視点がそれぞれ違って良かったです。また、ポスターセッションもどの班も個性的で面白く、特に 15 班のしんきろうについての研究も良かったです。うまく自分の研究を説明できないこともあったけど、聞いてくれた人が懸命に聞き取ろうとしてくれて、誰かとコミュニケーションを取ることの楽しさを学びました。ホームステイも最初は仲良くなれるか不安だったけど、一緒にごはんを食べたり、トランプをしたり、話したりするうちに、どんどん仲良くなれて、本当に嬉しかったですし、これも英語のおかげだと、英語のありがたさを感じました。
- ・自分は韓国の男子のホームステイ先、ホストファミリーをしました。申し込んだときはとてもやる気で満ちあふれていましたが、だんだんとホームステイの初日に近づくにつれて、緊張してきて、自分がこの役を務まるかどうか、心配したときもありました。しかし、実際に会っていろいろ英語で話していく中でとても勉強になった点がたくさんありました。韓国についてたくさんのことを聞いたし、彼は海外経験もあったので、他の国の話も聞きました。たくさん文化に触れてとても勉強になりました。それだけでなく、ポスターセッションを英語でやったことも、とても勉強になりました。新しい目標も見つかりました。この数日、日本語よりも英語の方を話していたと思います。とても頭を使って疲れましたが、とても達成感があり、すっきりした気分になりました。

